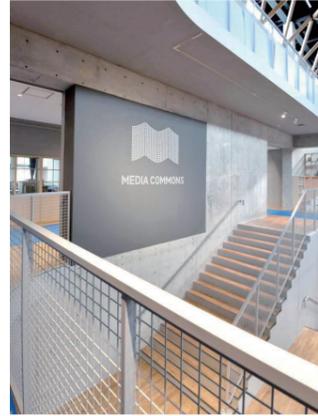


嘉麻市立稲築東義務教育学校



外観

「嘉麻市立稲築東義務教育学校」は、2023(令和5)年4月に開校。福岡県嘉麻市初となる義務教育学校3校のうちのひとつ。義務教育学校は、小学校・中学校の区切りをなくした教育課程9年の新たな学校種である。



発表ステージ



吹き抜けの中央に設けられた発表ステージ。休み時間は児童・生徒が段差に腰かけて談笑したり、活発に往来したりできる。また、上階からも発表内容を観覧することができる。



メディアコモンズ

大きな本棚で構成された図書スペースと特別教室が隣接した(メディアコモンズ)は、特色のひとつ。アクティブラーニング(児童、生徒らが受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かうこと)を促している。



トイレサイン

コンクリートの壁に映える、市産材の杉の木を用いたサイン。コンクリートや木などの素材を意匠としてそのまま活かすことで、建物の構造や成り立ちがわかるようにしている。



1F低学年 ラウンジ①

手洗いしながらコミュニケーションが生まれるよう、洗面コーナーをトイレ入口前に設置。ラウンジのような空間を目指した。壁の数字は学年を示している。



1F低学年 ラウンジ②



いつでも手洗いできるように、トイレや教室のそばに手洗いコーナーを設置。水栓金具は、水の止め忘れがないように、一定量吐水後に自動的にストップする自閉式水栓を採用している。



1F低学年 男子トイレ 小便器コーナー

すっきりと落ち着いた内装の小便器コーナー。シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。



1F低学年 男子トイレ 大便器ブース

大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式に暖房便座を設置。床材などトイレ内装の色彩は、ジェンダーの観点からやわらかなグリーンやイエローを採用している。



2Fメディアコモンズ トイレ入口

大きな窓に面した明るく開放的なトイレ入口。バリアフリートイレに前室を設置し、廊下から入室する際の視線をカット。性的マイノリティや1人になりたい児童・生徒が使用する際の配慮にもつながっている。



2Fメディアコモンズ トイレ 手洗いコーナー

1Fと同様にトイレ外に設けたアイランド型の手洗いコーナーは、自然にコミュニケーションが生まれる開放感のある設計。水栓は、衛生配慮として自動水栓を採用している。



2Fメディアコモンズ 男子トイレ

2Fの男子トイレは小便器をなくし、すべて個室トイレにした。すべて個室化にすることで大便器ブース利用の抵抗感をなくし、結果的に性的マイノリティへの配慮にもつながっている。



2Fメディアコモンズ トイレ

男女トイレは間仕切り壁により仕切られているが、その壁に鍵付きのスライド仕様を採用。だれもが使えるトイレにもなる仕掛けをしている。

嘉麻市立稲築東義務教育学校



2Fメディアコモンズ
女子トイレ
大便器ブース

大便器は、タンク式と同じ給水口径15A配管でフラッシュバルブ式同様の連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。音姫は男女ともに、すべてのブースに設置している。



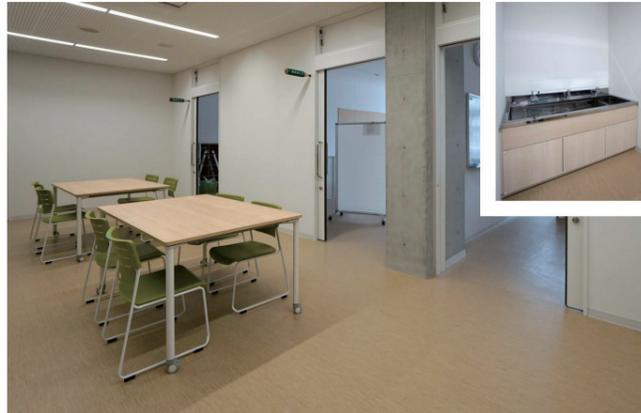
1F・3F バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトへの配慮や、左右勝手違いなどのバリエーションを持たせたバリアフリートイレを各階に複数設置。空間を有効に使えるコンパクト・バリアフリートイレパックを採用している。



3F高学年
トイレ入口

手洗いコーナーをトイレ外に設置することで、多様な学年やクラスの交流を目指しており、高学年のトイレには、身だしなみを整えられるようトイレ内にも鏡付きの洗面コーナーを設置。衛生配慮として自動水栓を採用。



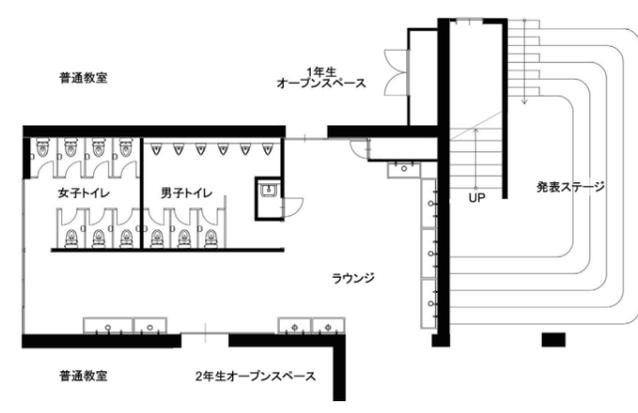
1F特別支援学級
なかよし学級

「なかよし学級」のすぐ外にも、手洗いコーナーを設置。手洗器の水栓金具は水の止め忘れがないように、一定量吐水後に自動的にストップする閉閉式水栓を採用している。



1F特別支援学級
なかよし学級

なかよし学級横には、嘔吐や粗相をしてしまった際にすぐに洗い流すなど処置を施せるよう、シャワールームを設置している。



1F低学年 トイレ図面

発表ステージは、休み時間に児童・生徒が談笑したり、活発に往来する場としても提供される。そのすぐそばには、トイレといつでも手洗いできるよう手洗いコーナーを充実させている。



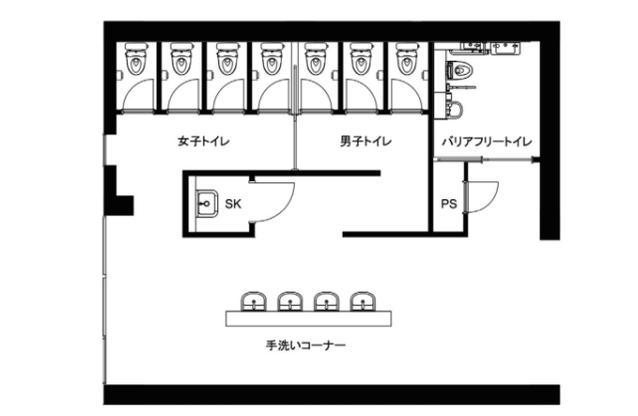
メインアリーナ
女子トイレ

災害時に避難所としても使用されるアリーナトイレは、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。内装の色は、やさしい印象を与えるイエローを採用している。



メインアリーナ
バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレパックを設置。さらに、視力の弱い方にも手すりの位置が認識しやすいよう、周辺とのカラーコントラストにも配慮している。



2Fメディアコモンズ
トイレ図面

メディアコモンズのある2Fは、男女トイレともにすべて個室トイレとしている。さらに、男女トイレの間仕切り壁は鍵付きのスライド仕様とし、将来的に開放することで、だれもが使えるトイレにもなる仕掛けをしている。

水まわりの特長

建物の特徴

「嘉麻市立稲築東義務教育学校」は、福岡県嘉麻市初の義務教育学校として「稲築西」「確井」とともに、2023(令和5)年4月に開校された。義務教育学校は小学校・中学校の区切りがなく、小中一貫校と異なり、校長が1人で一つの教職員組織で運営される。6・3制にとらわれず、4・3・2制や5・4制などの柔軟な学習指導や異学年交流がしやすいのが特徴。同校でもその特色を活かし、学年間の交流が促進されるようさまざまな仕掛けが施されている。校舎全体の配置は、1Fは低学年(1~4年生)、3Fは中学年(5~7年生)と高学年(8~9年生)のクラスルームを配置。校舎の中央にあたる2Fに全学年が利用する「メディアコモンズ」をレイアウトし、日常的にいろんな学年との交流が図られる。

水まわりの特長

普通教室のない2Fのメディアコモンズのトイレは、男女トイレともにすべて個室トイレを設置。さらに、男女トイレの間仕切り壁は鍵付きのスライド仕様とし、将来的にその壁を開放することで性別に関係なく、だれもが使えるトイレとして使えるようにしており、運用の変更に伴って、サインも取り外しが可能になっている。また、すべてのフロアにバリアフリートイレを設置し、性的マイノリティや1人になりたい児童・生徒が利用するための配慮につなげている。そのほか、ジェンダーの観点から色彩を「男は青、女は赤」とせず、やわらかなイエローやグリーンが床材に採用されている。また基本的に手洗いコーナーをトイレの外に設け、手洗いしながらコミュニケーションが生まれるように配慮されている。

建築概要

名称	嘉麻市立稲築東義務教育学校
所在地	福岡県嘉麻市平1536
施主	嘉麻市
設計	久米設計 九州支社 (鴻池・平嶋・久米特定建設工事共同企業体)
施工	鴻池組 九州支店・平嶋工務店 (鴻池・平嶋・久米特定建設工事共同企業体)

竣工年月	2023年2月
敷地面積	30,785.21㎡
建築面積	6,037.50㎡
延床面積	12,085.79㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレットPS:TCF5564AE
ウォシュレットアブリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN
棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900R
壁掛洗面器:L250C
台付自動水栓:TENA40AW
自閉式立水栓:TL19AR
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAZ21R1C2ASD1BA、UADAZ21L1C2ASD1BA
音姫(トイレ擬音装置):YES400DR